

(注)本相場見通しは、投資に関する断定的判断を提供、またその内容に関する責任の一切を負うものではありません。投資の最終判断はご自身でお願い致します。

配信停止をご希望の方は、こちらまで

<http://r26.smp.ne.jp/o/Pg/50361/HBa9CdH7ci0D/out?stop=ldog>

「悪材料は織り込まれている。材料消化で円安へ転換か」

2009年2月5日(木)

エース交易 シニアアナリスト 陳 晁熙

2月に入り重要な経済指標が相次いで発表されている。

3日に豪州中央銀行が予想通り1%の利下げを実施した。

4日は、米雇用統計の前哨戦と位置づけられるADP雇用統計が発表された。前月比-52.2万人と予想の-53.5万人をやや上回り、米ISM非製造業総合景況指数も42.9と予想の39.0を上回り2ヶ月連続の改善となった。

5日には英国の追加利下げが予想されている。同日の欧州中銀(ECB)も利下げを行なう可能性がある。

6日には、米雇用統計が発表される。

以上に加えて、欧州系金融機関の10~12月期決算も発表される。5日のドイツ銀行、9日の英パークレイズ、10日のスイスUBSなどが予定されている。

日本に続いて世界的にゼロ金利政策が広がり、低金利状態が長期化しそうな動きになっている。それに連れて円の先高見通しも強まっているが、ドル円相場は88~89円台で膠着状態に陥って持ち合いの展開が続いている。

米雇用統計の悪化、欧米の金融機関の決算悪化など、いずれも予想されており、マーケットにはほぼ織り込まれた内容だ。悪い数字が発表されることによってドル円に関しては、87円のサポートを割り込んでさらに下値追いの展開になるというよりは、材料が消化されたということでショートポジションが蒔き戻される展開が想定される。

シカゴIMMの円先物のファンドポジションは、直近(1月27日)でロングの比率が73.2%で、これは昨年12月上旬の週(75.0%)以来の高水準となっている。内部要因的には買われ過ぎが強まってきている。今週、ドル円がサポート(87円)を維持できるなら、チャートの的には底割れが回避され、円買いポジションの巻き戻しが徐々に出てくると思われる。長期的には依然として円高基調にあるだろう。つまり、将来的には、1995年時に匹敵する円高局面が訪れる可能性はあるにしても、短・中期的には、円下落の要因が顕在化しつつあることに注意したい。

徐々に日足チャートに描かれた一目均衡表の雲が明白な上値抵抗線になっているが、これから3月にかけてこの雲のレベルの90~92円まで円安が進行する可能性もある。



現在の為替市場は、ユーロと英国ポンドの動きがポイントだろう。その意味で、今夜の英中銀(BOE)と欧州中銀(ECB)の政策金利発表は、今後の相場展開に影響してくるだろう。両中銀とも、昨年10月8日の6カ国の中銀臨時協調利下げで、4ヶ月連続での利下げを実施してきた。

英国(BOE)は、10月初めの5.00%から1.50%まですでに利下げを実施してきたが、今回の金融政策会合でも、追加利下げが確実視されている。金融立国の英国としては、金融危機に際し英国金融機関に関する信用問題が出てくるのを防ぐためにも利下げが必要とされている。

一方ユーロ(ECB)は、今回の理事会では金利を据え置くとの見方が出ている。トリシェ総裁は、前回の理事会後の会見で「更なる利下げを否定しない」という発言を行い、追加利下げに含みを持たせた。ユーロ圏の経済状況が改善している訳ではないが、16カ国の統一通貨として急激な利下げを実施しにくいというお家の事情があるようだ。

ユーロ/ポンドの日足を見ると、雲が下値をサポートしており、ユーロの下げが止まりそうだ。仮に、雲を抜けてユーロの下げが加速すると、波乱の展開になりそうだ。



エース取引株式会社 オンライントレード部マーケティング担当

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-29-24 エースファーストビル

TEL:03-5485-4079 FAX:03-5485-5081

mail: fxmail@acekoeki.co.jp

ホームページ <http://www.acekoeki.co.jp/>

- ・ジャスダック証券取引所上場（銘柄コード：8749）
- ・金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第251号
- ・（社）金融先物取引業協会会員 / （社）日本商品投資販売業協会会員

本外国為替証拠金取引「エースでねらえ！FX」（以下、本サービス）を提供する者の名称はエース取引株式会社（登録番号：関東財務局長（金商）第251号）、社団法人金融先物取引業協会および社団法人日本商品投資販売業協会に加入している金融商品取引業者です。

本外国為替証拠金取引「エースでねらえ！FX」は商標登録出願中のサービス名称です。本サービスは証拠金による取引であり、実際の取引金額は証拠金の額に比して大きいため、少額の資金で大きなポジションを保有することが可能ですが、その損失の額が当初預託していただいた証拠金額を上回る可能性があります。

各国の政治、経済状況の変化及びそれに関連する金融市場の変化、金利相場、外国為替相場の変動、スワップポイントの支払い、およびレバレッジを高めた場合、預託した証拠金の損失、若しくは預託した証拠金を上回る損失となる可能性があります。

本サービスの最低取引単位（1枚）は1万または10万通貨単位です。売買手数料は無料、預託していただく証拠金の額は、1枚あたり4,000円～2,200,000円で、通貨ペアの種類等により決まります。

現受けの際は1通貨あたり50銭の手数料および5,000円の送金手数料がかかります。

本サービスでお取引を始める際の証拠金に対する取引金額の比率は、約1倍～約200倍（2008年12月1日現在）で、日々の為替レートや証拠金額の変更等で異なります。

当社が提示する各通貨の価格及びスワップポイントは、売付けと買付けの価格に差があります。

> ご契約の際は契約締結前交付書面を十分お読みになり、リスクや取引の仕組み等の内容をよくご理解いただき、ご自身の判断と責任においてお申込みください。

> お客様のご相談につきましては、当社本社内/営業管理部顧客サービス担当（電話：03-5485-4161）、若しくは金融商品取引苦情相談窓口（電話：0120-64-5005）までどうぞ。

本メールはお客様への情報提供のみを目的として作成したものであり、投資の勧誘並びに、断定的な投資判断の提供を行うものではありません。また、本メールの内容の利用に際しては、お客様ご自身の判断と責任でなされますようお願い申し上げます。本メールは信頼できるとされる各種データに基づき作成していますが、エース取引株式会社はその正確性及び完全性に関して責任を負うものではありません。また、本メールに記載されている内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。本メールは宛先名にあるお客様に限りご利用ください。従って、メール内容のいかなる部分も複製または転送等を行わないようお願いいたします。また、送信上の誤操作により、受信される予定でない方に配信されました場合は、送信者までお知らせいただき、受信された本メールは削除させていただきますようお願いいたします。電子メールの特性上、送信過程で内容欠落、送信遅延、ウィルスの混入その他の不都合が生じることがございます。これらにつきましてエース取引株式会社は責任を負いかねますのでご了承下さい。また、エース取引株式会社は本メールの送信先 w) Eu 条ト視する権限を持っています。

お客様の個人情報は、当社の個人情報保護ポリシーに基づき、適切に管理させていただきます。

・個人情報保護ポリシー：<http://www.acekoeki.co.jp/site/privacy.html>

弊社に関するお問い合わせは下記URLよりお願いいたします。

<http://www.acekoeki.co.jp/site/form.html>

All Rights Reserved, COPYRIGHT(c) ACEKOEKI LIMITED 2008
